

井草高等学校 令和5年度 教科公民科目政治・経済（必修） 年間授業計画

教科：公民 科目：政治・経済（必修） 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～G組

教科担当者：A組～G組：亀井

使用教科書：7実教政経312 高校政治・経済

使用教材：浜島書店 最新図説政経

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	民主政治の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・人権保障の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、世界の政治体制を学習し、民主政治の基本原則について理解する。 	人権保障の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、世界の政治体制について理解し、民主政治の基本原則について必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	8

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。 	日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容について理解し、日本国憲法のの基本的性格について必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	10

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	日本の政治機構、現代日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解する。戦後政治の流れ、政党と選挙、世論の役割について理解する。 	国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみについて理解し、また、戦後政治の流れ、政党と選挙、世論の役割について理解し、日本の政治機構や現代日本の政治について必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	10

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 	国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮について理解し、現代の国際政治について必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	6

8月	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	経済社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> 現代の経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済と社会主義経済の特徴について学習し、経済活動の意義について考える。 	現代の経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済と社会主義経済の特徴について理解し、経済活動やその社会の変容について必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	10

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体の役割、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。 	<p>経済主体の役割、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割について理解し、現代経済のしくみについて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。</p>	12

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	現代経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後日本経済の流れや中小企業や農業の特徴、社会保障制度や労使関係について理解を深め、現代経済と福祉の向上について考える。 	戦後日本経済の流れや中小企業や農業の特徴、社会保障制度や労使関係について理解し、現代の経済社会の特徴と福祉の向上について必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	10

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	世界経済と日本	<ul style="list-style-type: none"> 国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。 	国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて理解し、国際経済のしくみについて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	4

1月	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

2月	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目政治・経済（必修）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				